



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121  
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3001回 例会2023.9.7 No.1662



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE  
In the WORLD

**ソング** 君が代・奉仕の理想

**四つのテスト** 職業社会奉仕委員長

**会長談話** 山田 益会長

「失敗に学ぶ。事故に学ぶ」

【その1】アメリカのタコマ  
橋の崩壊

1940 年米国ワシントン州

タコマ市に有る新しいつり橋が、完成後わずか4か月後、毎秒 19mの横風で崩壊してしまった。このつり橋は中央スパンは 853m、幅は歩道と合わせて 11.9mと長さ比べて幅の狭い橋であった。設計は当時最も進歩していると言われていた「モイセイエフ」氏の設計である。

この橋は完成直後から風が吹くと上下動が大きいと分かったので、ワシントン大学のフォーカーソン博士などのチームが 16mmフィルムでこの橋を撮影していました。破壊の原因は横風による橋の「自励振動」によるもので、橋桁がH型であったため 19m/secの横風により橋桁の背面(横側)に「カルマン渦」が発生してそれが橋桁の歪を起こしていたためです。その後橋桁の剛性の必要性が明らかになった事故となりました。(機械科の学生は必見!) 現在の新タコマ橋は 1960 年完成で、頑丈な剛性補強トラスが橋桁に取り付けられていて今日に至っています。

これらの失敗から学ばれて、1998 年完成の本州四国連絡架橋「明石海峡大橋」は、中央スパンは 1991mあり世界最大級の吊り橋ですが、横風 80m/secでも耐えられる設計です。橋桁はトラス構造となっています。この研究は戦後のジャーナリズムの金字塔と言われている。当時は全国で新幹線工事などで建設ブーム。しかし立花さんの資料のスタートは、驚くほど素朴な事からのスタートでした。

【その2】世界初のジェット旅客機「コメット」の空中破裂(金属疲労による旅客機の空中破裂)時代の花形として脚光浴びて 1952年に路線就航した世界初のジェット旅客機「デハビランド・コ

メット」2機が、1954年相次いで空中爆発を起こして墜落した。

1942年、英国政府は戦後の航空機産業界の生き残りを考え旅客機開発に着手した。検討の結果ジェット旅客機の開発研究に力を注いでいた「デハビランド社」が正式担当となった。そして 1947年、旅客機「コメット」を BOAC 航空から受注した。

1952年5月、BOACは定期運航を開始した。「コメット」はジェット旅客機であるため速度はレシプロ機 500km/hから 800km/hへ増大、巡航高度が 6000mから 10000mになり乱気流の影響低減、また低い振動や騒音、少ない揺れなどの長所を有することから順調に受注を伸ばし 1953年には出荷は 47機となった。ところが 1954年1月、イタリア:エルバ島沖で続いて4月にやはりイタリア:ストロンボリ島沖で相次いで墜落した。「コメット」の飛行は全面的に停止となった。これらの事故に対して時の英国首相ウインストン・チャーチルは、「大英銀行の金を全てつぎ込んでもいいから落下した機体を回収しろ」と命じました。結果として集められた機体の部品の破損状況から窓のコーナー部からの亀裂が原因と判明した。そして機体に使われていた析出硬化型アルミニウム合金の金属疲労強度が低いという事が分かった。高空で生じる圧力差によって金属疲労が生じていた。開発時の地上における強度実験が不十分であったことが判明しましたが、期間として4年もかかってしまった。この間にジェット旅客機の市場は「コメット」の問題点を十分学んでいた米国ボーイング社に奪われてしまった。

**誕生祝**

中川博司・清水紀光  
飯島松一

**結婚記念日祝**

中山一郎・藤本和寿

**在籍祝**

宮下 裕(19)・小坂樗男(13)  
原田和愛(6)・増田 清(6)



**幹事報告** 別紙をご覧ください

**理事会報告** 1.9月のプログラム 2.いのちのWa  
コンサートⅡ協賛依頼について 3.納涼会の予算  
変更について これら全て承認された。

**委員会報告** 雑誌紹介

○9月号「ロータリーの友」赤羽弘之副会長

**横組み** P4～9月21日は「交際平和デー」事例として2020年3月のパキスタンとインドのロータリー会員の行動を掲載。P7～ロータリーの友創刊までのレポート。P14～京都洛中RCのバリ島での水と教育支援の記事。P18～「ロータリー希望の風奨学生」の説明。P26～ロータリーアットワークで、各クラブの紹介記事。P40～鈴鹿ベイRCの「F1日本グランプリ会場に集まれ！」告知。

**縦組み** P4～大阪教育大学名誉教授竹田氏の「読み書きが苦手な子供の為に」講演要約を掲載。発達障害を理解する上で、非常に参考になる記事。

**出席報告** 会員数57名 内出席免除者20名  
出席者28名 事前メーキャップ0名 出席率65.11%

**ニコニコボックス**

- ・赤羽弘之 今月はロータリーの友月間です。今日も一緒に読みましょう。
- ・小林句子 ラウンジバイオレット、オープン致しました。皆様の御来店をお待ちしております。
- ・大石ひとみ 事業開始から節目の年を迎えました。地域に必要とされる会社を育てていきます。
- ・小松肇彦 本日は卓話をさせていただきます。
- ・納涼例会ビンゴゲーム上位5名

ラッキー賞

赤羽弘之・吉澤祥文  
本田敏和・平出吉範  
本郷一博・神山公秀  
笠井俊朗



**会員卓話** 小松肇彦会員

演題-「私の履歴書」

1957年昭和32年4月生まれの66歳です。伊那小・伊那中・伊那北高校を卒業しました。会長エレクトの平出さんと同期となります。最終学歴は、明治大学法学部卒業後、父の会社に入ることになったのですが、印刷業の未来に不安があったのか、父の勧めで、箕輪の伸光製作所の下請けでプリント基板のスクリーン印刷を1年ほどやっていました。下請けから脱して大きくするには、かなりお金がかかりそうと断念し、小松総合印刷に入りました。

28歳で結婚し、妻一人息子二人、息子たちは独立し、長男は会社に入っています。次男は、



孫を連れて、現在オランダのユトレヒトに移住しています。

さて、我が家は今、ゴールドンレトリバー2頭中心の生活で、朝・昼・夕の小一時間の散歩が日課になっています。朝は妻の担当ですが、雨の日も風の日も、雪の日も、昼・夕の2回の散歩は私の最大の仕事となっています。この例会の後も、横山を2頭と散歩が待っています。

28歳で商工会議所の青年部、その後JCに入り、37歳頃天竜川担当の副理事長をやりました、現白鳥市長が副理事長で始めたばかりの天竜川フェスティバルを引き継ぎ、諏訪から浜松までのJCにお邪魔して、協力をお願いをして回りました。当時の建設省天竜川上流工事事務所から沢山の予算を表から裏からつけて頂き、伊那JC史上最も大きな予算を使ったイベントとなりました。

40歳前後には、商工会議所青年部の部長も2期経験しました。まちづくりの成功事例を見るため、伊那市の助役と会議所の副会頭と一緒にアメリカを視察し、数ヶ月後今度はアメリカからまちづくり担当者が伊那市に来て、講演や座談会を行いました。残念ながら、商店街からはアメリカ村を創る様な話が出なかったのがとても残念でした。また、伊那中学校で「働くとは」みたいな話を3年生全員の前で1時間ほど話をしたりと、いろんな経験をさせていただきました。

印刷業は設備投資先行型の産業で、当時は高額な設備導入と生産能力を競っていました。弊社もチラシの輪転機を設備し、地元だけでなく、甲府や長野・松本に毎日通って仕事を集めていましたが、減価償却費の負担が重く、楽な状況ではありませんでした。そんな中業界史のアメリカ印刷業界視察ツアーの広告が目に入り、田舎の小さな印刷会社だったため、恐々申し込みました。行ってみれば、大きな会社もありましたが、似た様な会社の皆さんで安心したのを覚えています。

誰でもスマホを持つ時代になり、Paypayなどのスマホの決済が普及してきて、QRコードに抵抗がなくなってきましたので、可変QRコードを使った様々な施作は、今後のマーケティングの一つの柱になっていくと思います。

弊社は、DMの印刷だけでなく、ゆうメール等の発送も含め、多くのネットワークを持っています。効果の見える、効果のあがるDMをお考えの方は、お声をかけていただくと幸いです。

最後は営業になってしまいましたが、お時間をいただきまして、ありがとうございます。